

# 地域と一体となった取組に向けて！

地域と学ぶ

## 恵庭中学校 『1日防災学校』

令和元年12月 7日(土) 恵庭中学校 体育館

第1部 8:45~10:00 講演会 ※8:30 受付開始

第2部 10:30~11:30 学年別防災学習

※参観は自由となっています。どうぞお気軽にお越し下さい！

第1部 講演会 『震災の経験から』 講師：文部科学省調査官 長田 徹 氏

自らも、2011年3月11日に起こった「東日本大震災」を経験、地震発生直後から、釜石市内の学校等へ状況の把握と復旧支援に参加されました。その際感じた「学校と地域が一体となった取組が子どもたちを救い、子どもたちの手によって地域が救われる」という思いを日本各地で講演されています。

過去の講演会の様子を紹介した新聞記事より…

2月3日13時00分から息子の高校で、この講演会があった。

PTAの役員をしていたため動員されての参加だった。講演者は、文部科学省の人なので、「どうせ『学力優先』で良い大学へ行って、官僚になって実社会なんか知らない『お役人』の話だろう」と、期待していなかった。

ところが、この長田（おさだ）さんという方は、元は仙台市の中学校社会の先生で、仙台市の教育委員会を経て2011年5月から文科省に移ったという「現場」にいた人だった。

東日本大震災では自らも被災し、自らも避難所運営等に携わり、後に学校と地域の関わりが避難所運営にどう影響したのかなどを調査され、その結果と思いを伝える講演だった。

震災については、報道で見聞きしたとしても、実際にその場にいた人の話を直接聞くこととは比べものにならない。心に響くものが全然違う。

何度も涙をこらえて、5回くらい鼻をかんで聞いた。

あの人数（30人～40人）で聞くにはもったいない、もっと多くの方が聞くべきだと思った。

**記憶に残る！ 勇気をくれる！ 頑張れる！ そんな講演会です!!**